

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	つつじ保育園
施設所在地	東京都板橋区高島平9-43-1

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

当園は、園庭が広く緑豊かな環境の為、自然を身近に感じられる。太陽の光に反射して光る樹木や水等の色や輝きの変化に気付いたり、風で揺れる葉やその音、自分やお友だちの影に興味を示したりする。

自然に触れていく中で、風・光・影・水・音を感じ、こどもたちの好奇心や探求心を育み、生命への敬意を深める。また、五感を刺激し、発見する喜びを体験していく。

2. 活動スケジュール

6月…戸外に出て自然に触れ、探求心を育む。

7月…泥や水等に触れ、水光や泥・水等の音に興味を持つ。

8月…水・プール遊びが盛んになり、水影の動きに興味を持つ。

9月…光や影を探す中で、自然現象の音にも興味を持つ。

10月…雷・強風等の自然現象に似た音探しをする。

11月…色鮮やかな紅葉、落ち葉等の影や踏む音を楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・採取した自然物をすぐに調べたり、デッサンしたりが自由に出来るよう、テラスに机を並べ、図鑑や白画用紙・クレヨン・色鉛筆・固形絵の具を設置する。

・拾い集めた植物を使ってTシャツを染め、着用する（5歳児）

・テントの下や、パーテーションの横に移動し、風・光・影・水・音等の自然を感じ変化を発見し、五感を刺激する。

・ミスト・水鉄砲を活用し、自然物と水との関わりの変化に気付く。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・“自然”とは何か？こどもたちに問いかけ、こどもたちからの声を拾い、興味や関心を深め広げていく。
- ・園庭や近隣の公園に行って身近にある自然物を探索する。
- ・自然物を活用し、自然に触れて培った五感を製作へと展開していく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「この葉っぱに水をかけたら、みどりの絵の具が出てきた。何かに使えないかな？」「石の下には虫が隠れている。なんでつぶれないんだろう？」「水・風・日陰には匂いがある」
「お日様を見ていると目がチカチカして光った汗が出てくる」等、こどもたちのつぶやきを聞き逃さずにひろい、広げていく中で自ら進んで調べたり、試したりが行えるよう促していく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

こどもたちの「やってみたい」「みつけてみたい」等の思考力、観察力が想像を上回る程の積極性が見られ、保育者の主観でなく、こどもたち自ら活動の主体性が感じられた。日常の遊びの中で視野が広がり、疑問を持ったり、感じたことだったり、友だちや保育者に共有し、考えを出し合ったり、調べ合ったりが見られる。保育者の働き方でこどもたちの興味や関心の幅が広がって行くことを再認識することができた。